

会議等結果報告書

| | | | |
|------|--|------|-----------|
| 会議区分 | 会議・打合せ・協議 | 文書番号 | 安政推第3368号 |
| | | 決裁期日 | 令和8年1月15日 |
| 名称 | 令和7年度 第3回安平町地域公共交通会議（兼 安平町地域公共交通協議会） | | |
| 日時 | 令和8年1月14（水） 午前・午後 10時00分～11時10分 | | |
| 場所 | 安平町役場 総合庁舎（大会議室） | | |
| 出席者 | <p>[委員] 田中会長（副町長）、佐々木委員（室蘭運輸支局）、西崎委員（胆振振興局地域政策課）、 新保委員（あつまバス）、海原委員（JR北海道）、真保委員（追分連合自治会）、 佐々木委員（安平連合自治会）、山下委員（早来連合自治会）、谷口副所長（室蘭開発建設部 代理出席）、 小林委員（安平町商工会） ※リモート出席 高橋委員（室蘭建設管理部）、下夕村委員（苫小牧工業高校） [12名出席 / 17名中]</p> <p>[事務局] 政策推進課 山口課長、畠田課長補佐、田中主事</p> | | |
| 会議概要 | <p>【開会】 山口政策推進課長 委員17名中、過半数の出席を確認し会議が成立することを宣言。</p> <p>【会長挨拶】 田中副町長 ・日頃より、当町の地域公共交通の運営へのご支援とご理解に御礼申し上げます。 ・当町では、先月12/10～12/27の18日間におきまして公共ライドシェアの実証運行を実施した。期間中は101名の方々にご利用いただき、各種ニーズや実状を把握することができた。詳しい実証結果については、議題(3)において担当から説明するが、今後の展開については皆さんのお意見もふまえたうえで検討していきたいと思っている。 ・本日の会議では、議事(1)において各種交通機関の利用状況を、議事(2)では町民のみなさんへのニーズ調査の結果報告を行う。数値的なデータをふまえた報告事項が多くなっているが、その分、より具体的な議論ができるものと考えているので、ぜひ忌憚のない意見等を頂戴したい。</p> <p>【2 議事(1) 安平町公共交通機関（循環バス・デマンドバス・ハイヤー）利用状況の報告】 *循環バス、デマンドバス、ハイヤーの過去3カ年の乗車人数について、資料P3～5のとおり報告。</p> <p>[質疑] デマンドバスの利用状況について、追分地区は多く、早来地区は少ないという状況の原因は何か。</p> <p>[事務局] 議事(2)記載のニーズ調査で「1時間前までの予約が面倒」、「1時間ごとに運行時間が決まっているのが不便」などの声があった。</p> <p>[質疑] デマンドバスの利用要件は同じだと思うが、追分地区と早来地区で差が発生する理由は何か。</p> <p>[事務局] 追分地区はハイヤー側のご厚意で、ハイヤー予約の際にデマンドバスの利用者登録や予約をおすすめするなどの努力をいただいている。また、追分地区と早来地区で予約時の運用実態が異なっていることも一因。追分地区的ハイヤーとデマンドバスはオペレーターが予約を受け付けるが、早来地区ハイヤーはドライバーが直接予約を受け、ハイヤーとデマンドバスのそれぞれで予約を行っているなどの違いがある。</p> <p>[意見] 早来も追分と同様の体制にすれば利用回復するのでは。</p> | | |

⇒ 議案のとおり確認

【2 議事(2) 国の補助金を活用した事業の実施状況】

* 令和7年度に国の補助金を活用して実施している事業について、資料P6～9に沿って説明。

1.利用者や交通事業者へのニーズ調査

[質疑] ニーズ調査にて「デマンドバス予約の条件が厳しい」との意見があるので緩和をお願いしたい。

[事務局] 朝の便は前日までに予約すること、1時間1便と運行時間が決まっていることなど複雑な条件であると認識している。来年度の条件緩和に向け協議していく。

[質疑] 体操教室は元気な人が多いが、多くがデマンドバスを乗ったことがないとの回答。

若い年代にも吹雪の時などに気軽に利用しやすくなるような取組をしてほしい。

[事務局] 交通維持していくには利用者を若い年代にも増やす必要ある。次年度にデマンドバスの時間要件の緩和が叶えば、若い世代にもPRしていきたい。

[質疑] アンケート集計結果について、地区ごとの数字に違いはあるか？

[事務局] まとめて集計していたため、地区ごとの集計結果は現状ない。今後整理したい。

[助言] 利用者の割合を地区別で集計できるとより実態と結びつくと思う。
また、事業者のアンケートも有効なデータとなる。

[事務局] 事業者のアンケートとして、循環バス・デマンドバスは利用者にアンケートを実施しているところ。結果が見えたらまた報告させていただく。

2.配車システムMITTの開発

[質疑] LINEでの予約について、他の地区の事例では予約時にLINEのリアクションがないため予約できたかどうかわからず電話がかかってくるという問題がある。

[事務局] システム開発の際に意識いたします。

⇒ 議案のとおり確認

【2 議事(3) 公共ライドシェアの実証報告について】

* 資料P9～12に沿って説明。

* 質疑無し

⇒ 議案のとおり確認

【2 議事(4) 地域公共交通確保維持改善事業に関する事業評価について】

* 循環バス運行事業の実施状況について資料P13～14及び別紙1に沿って説明。

* 質疑無し

⇒ 議案のとおり確認

【2 議事(5) 循環バスに係る自家用有償旅客運送の更新登録について】

* 令和8年度～令和12年度の循環バス運行事業更新登録について、資料P14に沿って説明。

* 質疑無し

⇒ 議案のとおり承認

【3 その他】

* デマンドバス及び循環バスの満足度アンケート調査、循環バスの乗降調査について資

料P15のとおり報告。

*全体をとおして質疑を受けた。

[質疑] 公共ライドシェア実証について、ドライバーは登録者全員が勤務したのか。また実証中に問題や課題はあったか。

[事務局] 登録者のうち5名が運転にあたった。課題として、今回は18日という短期間の実証であったが、長期で運行する場合はドライバーの人数が足りないと感じた。また、AIが自動的に行程を組むため、乗車中の経由地追加があった場合に次の予約に影響しないか心配する時があった。

[質疑] 後続の予約に影響がなければ、乗車途中で経由地を追加することもできるのか。

[事務局] 可能である。予約時に運賃を伝えているが、経由地を追加した場合は再計算の機能を利用し運賃を算出した。

[質疑] 公共ライドシェアの今後の展望について考えをお聞きしたい。

[事務局] 公共ライドシェアについては今回よりも長期での運行や、LINE予約導入の構想がある。しかし、デマンドバスの利用者減が公共ライドシェアの利用結果に繋がっているのであれば、先にデマンドバスのテコ入れを行う必要がある。その上でライドシェアの実証を行いたい。

[質疑] 買い物をする際に、公共ライドシェアを往復で予約することは可能か？

[事務局] 往復でも予約できる。

[質疑] 公共ライドシェア運行時間について、終了が少し早い。始まりを遅くし夜1時間長くしたほうが利用しやすいとの声あった。

[事務局] 次回の時間検討の際に参考にさせていただく。

[質疑] デマンドバスの利用者減少について着目した。地区ごとの人口分布や年代の割合が分からぬので、それを加味した形で資料作成をしてはどうか。

[事務局] 大事な視点のご意見だと思う。追分は短距離、早来は長距離の利用が多いという傾向もあるため、その部分も含めて分析したい。

【閉会】

以上、終了。（11:10）